

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
上下水道局

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
上水道事業会計	42,933	40,828	2,105
工業用水道 事業会計	3,889	4,177	▲ 288
下水道事業会計	55,625	52,112	3,513
合計	102,447	97,117	5,330

2 主要施策

「稼げるまち」の実現

芦屋町の公共下水道事業の事務受託による広域連携の推進

【1, 055百万円】

★芦屋町の下水道サービス維持・向上

芦屋町：維持管理課題の解決
北九州市：北九州都市圏域の連携強化



行橋市・荻田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進

【1, 407百万円】

★行橋市・荻田町への拡大

行橋市・荻田町：安定水源の確保、老朽化した浄水場の課題解決
北九州市：北九州都市圏域の連携強化



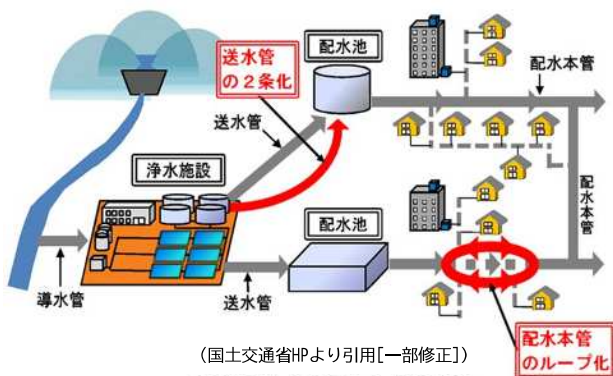
「安らぐまち」の実現

上下水道の地震等対策の推進

【9, 419百万円】

バックアップ機能の強化 (201,140千円)

- ★八重洲分岐～城野分岐送水管の機能強化
- ★井手浦系配水本管の機能強化



水道管路の耐震化 (7,305,065千円)

- ★更新に合わせた耐震化



浄水場・配水池の耐震化 (430,916千円)

マンホールトイレの整備 (25,000千円)

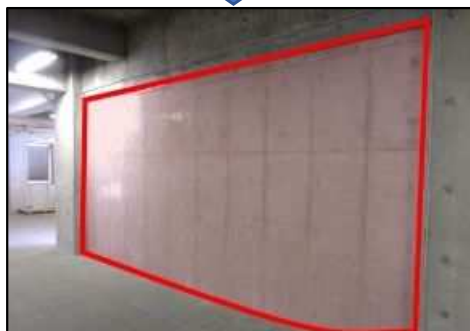
浄化センター・ポンプ場の耐震化 (120,000千円)

下水道管渠の耐震化 (1,336,838千円)

北湊浄化センター施工例

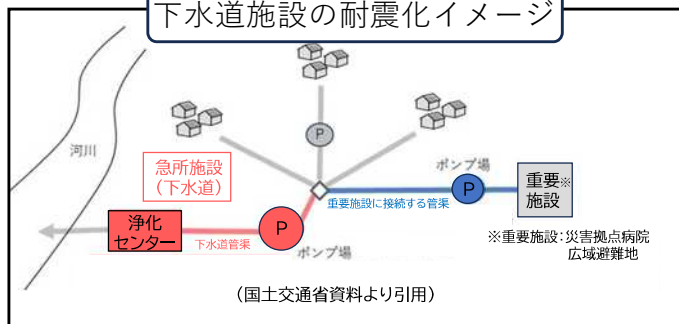


補強前（耐震診断により補強箇所を選定）



補強後（中空部に耐震壁を設置）

下水道施設の耐震化イメージ



既設管内部を
全面補強

重要な管渠の耐震化



「安らぐまち」の実現

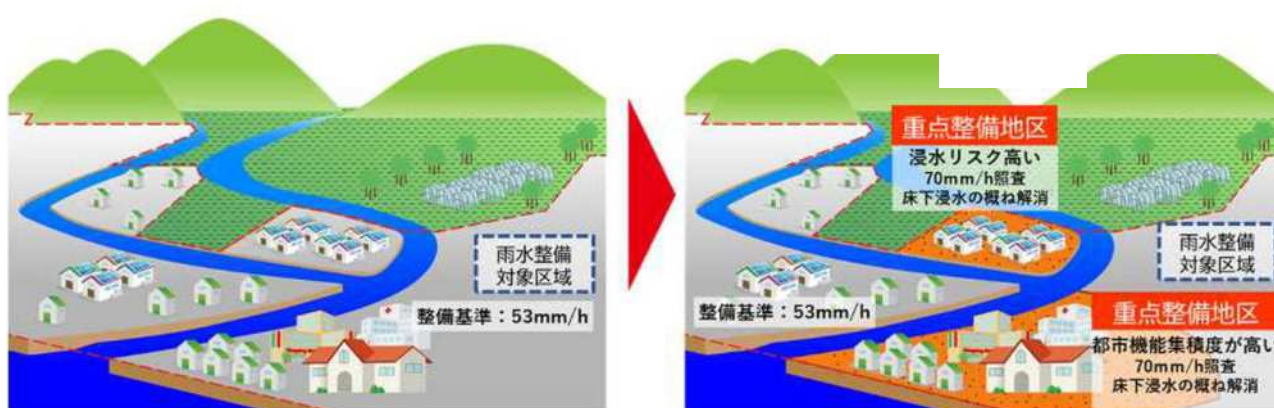
浸水対策関連事業の推進

【3, 788百万円】



激甚化・頻発化する豪雨から市民の生活を守り、浸水被害の最小化を図るため、重点整備地区（宇佐町・片野新町、上葛原二丁目、沼南町二丁目）等を中心に、効果的に雨水管等の整備を進める。

◆雨水整備方針



過去に大きな被害のあった地区を重点整備地区に定め、過去最大規模の降雨（1時間あたり約70mm）に対し、床下浸水の概ね解消を目指すことにしている。



平成30年7月浸水被害(片野新町)



雨水貯留管施工例(昭和町雨水貯留管)

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「基盤」をつくる

新規 ・芦屋町の公共下水道事業の事務受託による広域連携の推進 1,055百万円
芦屋町との広域連携に伴い、芦屋町が保有する下水道施設の維持管理等を北九州市が行うことで、将来の維持管理課題の解決と北九州都市圏域の下水道事業の連携強化を促進

新規 ・下水道マンホールふたへの広告掲載による収益化 2百万円
下水道マンホールふたへの民間企業等の広告掲載による収益化を検討、促進

・行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進 1,407百万円
行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大による北九州都市圏域の連携強化を促進

・企業進出に伴う工業用水道の整備 514百万円
企業進出に伴い新たな工業用水の使用を見込む若松地区において管路の強靱化を行い、企業活動の基盤を整えるとともに収入増加を促進

・未利用地の売却による収益化 331百万円

●稼げる「産業」をつくる

拡充 ・インフラシステムの輸出による海外水ビジネス展開の推進・支援 164百万円
長年、東南アジアを中心に国際技術協力を実施し、信頼関係を構築してきた相手国との関係を活かした海外水ビジネスを官民連携で展開

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

拡充 ・上下水道の地震等対策の推進 9,419百万円
地震等の災害被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した施設の耐震改修等を実施

拡充 ・浸水対策関連事業の推進 3,788百万円
近年の激甚化・頻発化する豪雨から市民の生活を守り、浸水被害の最小化を図るため、雨水管等の整備を実施

【問合せ先(全体に関すること)】

上下水道局経営企画課

丸谷(課長)、佐藤(係長)

TEL 093-582-3137